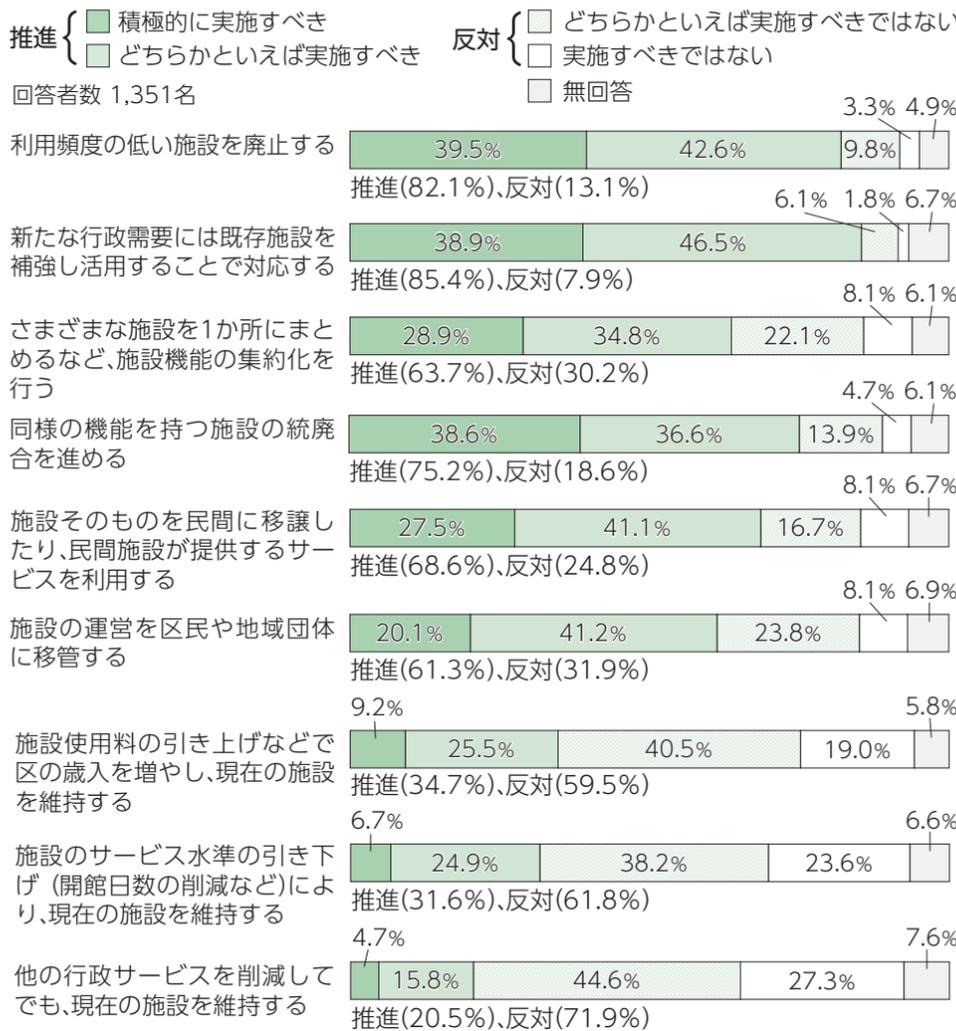


# 区民意識調査の結果をお知らせします

## 27年度のテーマは ★ 区有施設のあり方 ★ ユニバーサルデザイン

### 区有施設のあり方の方向性

全国各地で高度経済成長期に建設された施設やインフラ(道路・橋・水道などの社会基盤)の老朽化問題を背景に、今後の区有施設のあり方の方向性を各設問ごとに伺いました。「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた『実施すべき(推進)』で最も多いのは「新たな行政需要には既存施設を補強し活用することで対応する」(85.4%)で、次いで「利用頻度の低い施設を廃止する」(82.1%)です。「どちらかといえば実施すべきではない」と「実施すべきではない」を合わせた『実施すべきではない(反対)』で最も多いのは「他の行政サービスを削減してでも、現在の施設を維持する」(71.9%)で、次いで「施設のサービス水準の引き下げ(開館日数の削減など)により、現在の施設を維持する」(61.8%)です。



区では、区の重要課題に対する区民の皆さんの意識や要望を、今後の区政運営に反映させるため、毎年「区民意識調査」を実施しています。27年度の調査は、住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の2,500名を対象に、昨年9月に郵送で実施し、1,351名から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

27年度は、毎年調査している「生活における心配事」「区政への要望」などのほか、「区有施設のあり方」「ユニバーサルデザイン」について伺いました。今回は、調査結果の概要をお知らせします。

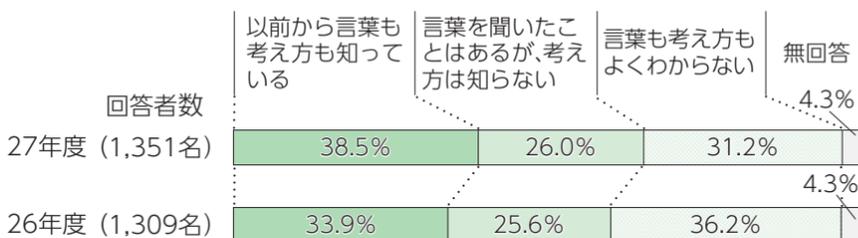
調査報告書は広聴担当課・区政情報センター(本庁舎1階)・区立図書館で閲覧できるほか、新宿区ホームページでご覧いただけます。また、要約版を広聴担当課・区政情報センター・特別出張所で配布しています。

【問合せ】広聴担当課広聴係(本庁舎3階) ☎(5273)4065・☎(5272)5500へ。

### ユニバーサルデザインという言葉の認知度

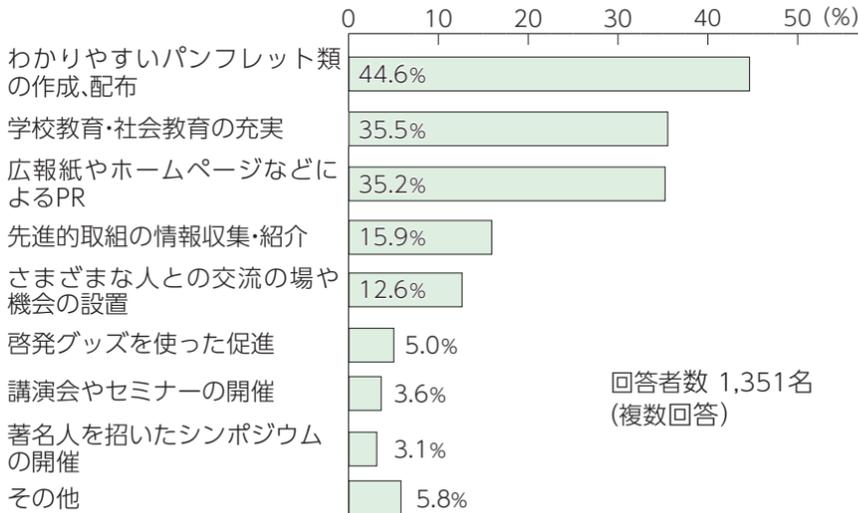
ユニバーサルデザインとは「年齢・性別・国籍・個人の能力等に関わらず、多くの人々が利用できるような快適な環境を作り上げること」です。

今回、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っているかを伺いました。「以前から言葉も考え方も知っている」が38.5%と最も多く、26年度と比較しても4.6ポイント増えました。「言葉も考え方もよくわからない」は31.2%で、26年度と比べ5.0ポイント減りました。



### ユニバーサルデザインの考え方を広めるために重要なこと

ユニバーサルデザインの考え方を広めるために重要なことを伺ったところ、「わかりやすいパンフレット類の作成、配布」が44.6%で最も高く、「学校教育・社会教育の充実」が35.5%、「広報紙やホームページなどによるPR」が35.2%と続いています。



### 毎年実施している調査項目から

#### 生活における心配事

日ごろの生活の中で心配事があるかを伺ったところ、『今は心配ではないが、4～5年以降は心配になると思う』は「自分が介護の必要な状態になること」が、『2～3年で心配になると思う』は「家族の介護が負担になること」が、『今、心配である』は「近所付き合いの中で、いざという時に相談できる人がいないこと」がそれぞれ最も高くなっています。

項目	今は心配ではないが、4～5年以降は心配になると思う	2～3年で心配になると思う	今、心配である
1位	自分が介護の必要な状態になること (58.1%)	家族の介護が負担になること (9.5%)	近所付き合いの中で、いざという時に相談できる人がいないこと (22.7%)
2位	医療費や介護にかかる費用が大きな負担となること (54.2%)	自分が心身の健康を損なうこと (9.3%)	暮らしに十分な収入が確保できないこと (17.5%)
3位	家族が心身の健康を損なうこと (50.6%)	暮らしに十分な収入が確保できないこと (9.0%)	自分が心身の健康を損なうこと (15.6%)

上位3項目・複数回答(回答者数1,351名)

#### 区政への要望

過去3年で上位5項目に変化はないものの、26年度と比べ「子育て支援」(20.4%)が0.3ポイント増え、「震災・水害対策」(20.2%)が4.9ポイント減ったため、順位が入れ替わりました。

順位	項目	割合
1位	高齢者福祉の充実	38.1%(36.8%)
2位	防犯・地域安全対策	30.3%(28.8%)
3位	子育て支援(少子化対策)	20.4%(20.1%)
4位	震災・水害対策	20.2%(25.1%)
5位	低所得者への支援	13.0%(12.5%)

上位5項目・複数回答(回答者数1,351名)  
( )は26年度の割合

【日時】3月19日(土)午前10時～午後3時

【会場】牛込笹塚地域センター！牛込笹塚区民ホール(笹塚町15)

【主催】問合せ「笹塚町管内町会連合会事務局(笹塚町特別出張所内) ☎(3260)1911

【日時】3月13日(日)午前10時～午後4時

【内容】被災地から学ぶ地域防災(会場 申込み)当日直接、戸山シニア活動館(戸山2-27-2) ☎(3204)2422へ。

●東日本大震災から5年

【日時】3月13日(日)午前10時～午後4時

【内容】被災地から学ぶ地域防災(会場 申込み)当日直接、戸山シニア活動館(戸山2-27-2) ☎(3204)2422へ。

【申込み】区内在住・在勤が分かるもの(健康保険証、名刺など)をお持ちの上、**新宿(新宿7-3-29、新宿こころから広場しごと棟) ☎(3208)2311**へ。各施設1名につき2枚まで。

【申込先】区内在住・在勤が分かるもの(健康保険証、名刺など)をお持ちの上、**新宿(新宿7-3-29、新宿こころから広場しごと棟) ☎(3208)2311**へ。各施設1名につき2枚まで。

はがき・ファックスの記載例

①講座・催し名  
②〒・住所  
③氏名(ふりがな)  
④電話番号  
(往復はがきには、返信用にも住所・氏名)

講座・催し等の申し込み

※あて先は各記事の申し込み先へ。  
※費用の記載のないものは、原則無料。